

平成30年度学校指定教科検査について

平成30年(2018年)3月7日

【出題概要】

平成30年度の学校指定教科検査の出題については、中学校学習指導要領に準拠しつつ、基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力をみるとともに、知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力などをみる問題を出題した。

(国語)

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕について相互の関連や均衡に配慮しながら、実生活に即した文章などを基に思考し、目的や場面に応じて適切に表現することとした。

(数学)

「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の4領域の関連や均衡に配慮しながら、実生活の様々な場面で数学を利用して考察する力や、課題を解決するために構想を立て数学的な表現を用いて説明することとした。

(英語)

「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4領域の関連や均衡に配慮しながら、場面に合った内容を適切に表現したり、読み手に正しく伝わるように自分の考えを書いてたりするなど、実際のコミュニケーションを目的として英語を運用することができる力をみることとした。